

2017 年度  
第 1 回 日本教育保健学会フォーラム の案内

## 「多様な性」を考える！

日 時：2017 年 10 月 9 日（月・祝日）13:00～16:00

場 所：日本体育大学 世田谷キャンパス

内 容：「多様な性」を考える！

報告者 鈴木世津子（淑徳大学）

栗林加奈（公立中学校 養護教諭）



『教師のための教育保健学』（東山書房）p158 より

2014 年 5 月、NHK テレビで「“20 人に 1 人” LGBT を知っていますか？」が放送され大きな反響を呼んだ。LGBT とは、L（レズビアン：女性同性愛者）、G（ゲイ：男性同性愛者）、B（バイセクシャル：両性愛者）、T（トランスジェンダー：性別越境者・性別違和（性同一性障害）者）の頭文字で、性的少数者を示している。従来は、「性的多数者（セクシャルマジョリティ）」に対し「性的少数者（セクシャルマイノリティ）」が主に用いられてきたが、「LGBT」は、より肯定的な概念として広まってきた。しかし、他のタイプの性的少数者が含まれていないため様々な呼び方がある。

2014 年 2 月、英語版 Facebook は、性的少数者に対する配慮の一環として、設定可能な性別を大幅に拡張した。Facebook に元々あった性別オプションは、「男／女／選択しない」の 3 種類だったが、56 種類の選択肢の中から性別を選べるようになった。2015 年 3 月にはさらに改正され、選択するのではなく、自分の思う自分の性を自分の言葉で自由に書き込めるようになった。「Facebook では安心して、ありのままの自分でいてほしい」ための措置とのことである。2015 年 6 月、アメリカでは連邦最高裁の判決によりアメリカ全州で同性婚法案が可決し、「同性婚禁止は違憲」と決定した。

日本では、2001 年放送の『金八先生』（TBS テレビ）をきっかけに「性別違和（性同一性障害）者」が社会に認知され始めた。同じ頃、多様な性の当事者たちが自身のセクシュアリティをカミングアウトしマスコミが取り上げ始めている。性的少数者は、日本人の人口の 5.2%（電通、2012）、20 人に 1 人いると言われていたが、最近では、7.6%（電通、2015）、13 人に 1 人と言われる。

多様性を受け入れることは性に限ったことではなく、それは、他の様々なタイプの少数者も受け入れることである。少数者が生きやすい社会は、誰もが生きやすい社会につながる。誰もが自分らしく生き、暮らせる社会を築くためにも、「多様な性」の学習と対応が、学校教育に求められている。

（鈴木世津子）